

## 第5回 IT を活用した教育センターワークショップを終えて

スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門

片岡 竜太

本事業では3年間にわたる教育プログラムの作成に取り組んでいます。第1段階は「全身と口腔の関連についての基礎知識の修得」を目標として、3年生に対してeラーニング教材を活用した授業、第2段階は「臨床推論・コミュニケーション能力の養成」を目標として、4年生に対して基本的には症例ベースの授業をVP(模擬患者)システムとeラーニングシステムで、実践的な授業を第3段階は第1、第2段階で身につけた基本的な知識とその活用法を基に、5年生に対して臨床実習を行います。

6月26日に、昭和大学旗の台校舎において、第5回のワークショップを開催しました。学生が能動的に取り組むITを活用した授業の進め方を決めました。授業前に何についての授業なのか考えてもらうために「事前学習課題」を1週間前に学生に提示して授業前日までに行うように指示します。授業では学生は最初に「自由課題・症例課題」に取り組んで、授業の中心テーマについて考えeラーニング問題に記述式で解答します。教員は事前学習の取組と自由課題・症例課題に対する解答状況を参考に、学生が十分に理解していない内容について、リソース講義を行います。その後学生は授業の終わりに、重要項目についてのeラーニング「まとめテスト」に解答します。これにより授業のポイントとその習熟度を知ることができます。授業時間内に習熟できなかった内容については、「復習課題」をeラーニングで、自習して満点になるまで繰り返すことで修得します。

昨年度本学では3年生のユニット「チーム医療と口腔医学I」でeラーニングを活用した授業を実施しました。ビデオ教材も多く取り入れられています。臨床経験が乏しい3年生は臨床場면을具体的に実感でき、「今の学びを将来につなげる事ができると感じた」という感想をポートフォリオに書いており好評です。ワークショップではこの3年生の教材の改良を各WGで行いました。

今年の9月から、4年生に対して「チーム医療と口腔医学II」で、第2段階の授業が始まります。前年度の授業内容をeラーニングで確認して、症例課題をVPで修得し、最後に第2段階のまとめテスト、復習課題を行って、第3段階の臨床実習に備える予定です。この授業教材案を各WGで作成して、現在IT教材化を進めています。

次回は11月20日に開催を予定していますが、9月10月に実施予定の3、4年生の授業評価を基に、臨床実習および地域医療実習で活用できるように発展させていきたいと考えています。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた協力IT企業、ならびに各大学の事務関係者に心から御礼申し上げます。